



## お祝いの言葉

冬の厳しい寒さが日に日に和らぎ、春の訪れが感じられる季節となりました。

今日、9年間の義務教育を終え、この北野台中学校を巣立っていく卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

先輩方と過ごしてきたこの2年間、数え切れないほどたくさんのことを学ばせていただきました。校内の諸活動では、限られた期間の中で、先手先手で計画を立てて準備を進めていくこと、失敗してしまってもすぐに修正をし、次に生かして目標に向かって突き進むことの大切さを学びました。そんな先輩方の姿は、私たちの憧れであり、目標でした。

また、私は第33期生徒会役員として活動する中で、課題に直面したときにいろいろな視点で見ることの大切さや、皆で一致団結して進めることで、問題解決が容易になるということを学ばせていただきました。そして、伝統を引き継ぎ、積み上げられてきたものが、どれだけ大きなものかということを感じました。

部活動では、一つの大きな目標に向かってチームを引っ張り、私たちを競わせることで実力を伸ばしてくれました。大会やコンクールでは団結力の大切さを教えてくれました。

学校祭では、それぞれの部門のクオリティの高さに圧倒されました。ステージ発表の迫力、笑い……見ている人がついその世界に引きずり込まれてしまう、とても完成度の高いものでした。教室展示では、どうしたら来る人が楽しめるかが考えられていて、何回訪れても楽しめる工夫がありました。

そして、合唱コンクール。課題曲・自由曲ともに難しい曲でしたが、強弱や曲想を丁寧に表現していて、静寂に包まれていた会場が一気に歌で熱くなるような、とても迫力ある心のこもった合唱でした。合唱がこの学校の伝統であることを改めて実感させられました。交流会でアドバイスをいただき、私たちも全力で本番を歌いきり、悔いのない発表をすることができました。来年は私たちも覚悟と責任をもってこの伝統を受け継ぎ、後輩に伝えていきたいと思います。

私たちにとって、先輩方はとても大きな存在であり、いつも頼って生活してきたので、今、先輩方がこの学校を去ってしまうことを、とても不安に感じています。しかし、いつまでも頼っているわけにはいきません。今まで先輩方から学んだことや、教えていただいたことを生かして、この北野台中学校をさらに発展させていけるよう、これからは私たちが努力を積み重ねていきます。

先輩方には、この先、新たな出会いがたくさん待っていることと思います。楽しいことはもちろんですが、困難もあると思います。でも、先輩方には、たくさんの努力を重ね、何事にも立ち向かい、この北野台中学校を作りあげてきた力があります。その力があれば、どんなに大きな壁でもきっと乗り越えていけるはずです。私たちも、ここから応援し続けます。

今日までのたくさんの感謝の気持ちを込め、先輩方のさらなるご活躍を心からお祈り申し上げます。今まで本当にありがとうございました。ご卒業おめでとうございます。

令和2年3月13日

在校生代表 金子 英渡

